

1 消防のあゆみとおもな災害



消防本部庁舎（平成6年開署）

小田原消防150年のあゆみ

年 代	変 遷
江戸時代	小田原藩町火消は19町の戸主が組織する。
明治2年5月	とび職による常備消防夫として組織する。(80名) ※手当15円/年、出場毎に2銭の弁当料を支給
明治11年4月	小田原町全域に町設消防組として組織する。(19組、600名)
明治17年1月11日	出初式を初めて西海子(現在の南町)で挙行する。 ※腕用ポンプ
明治27年2月9日	消防組規則制定に伴い、小田原公設消防組を組織する。(5部、580名) ※手押しポンプ
明治41年	小田原消防組を組織する。(24ヶ分隊(2ヶ分隊ととび職の破壊消防含む)、組頭以下770名) ※ガソリンポンプ11台、手押しポンプ11台
昭和5年10月1日	小田原町消防組を改組し小田原町常設消防部を発足する。(組頭以下122名) ※望楼設置、フォード消防自動車3台
昭和14年4月1日	消防団令に基づき消防組を改組し、小田原町警防団として組織する。
昭和16年	前年の市制施行に伴い、小田原市警防団として組織する。(1,381名)
昭和23年3月7日	消防組織法施行に伴い、警察行政より分離して小田原市消防本部、消防署並びに消防団を設置、自治体消防を発足する。 組織：消防長以下37名、消防団15個分団、特設2個分団 1,237名 設備：消防車6台 設置場所：小田原市幸1-138
昭和26年7月16日	足柄出張所を設置する。 組織：消防職員16名 設備：消防車2台 設置場所：小田原市多古644 消防本部の係を庶務、予防、消防の3係とする。
昭和31年6月4日	川東分署を設置する。(消防職員定数82名) 組織：消防職員16名 設備：消防車2台 設置場所：小田原市国府津2493 足柄出張所を足柄分署に改める。
昭和35年7月1日	救急車1台を本署に配備し、救急業務を開始する。
昭和36年5月25日	西分署を設置する。 組織：消防職員16名 設備：消防車2台 設置場所：小田原市南板橋2-255 足柄分署を北分署に、川東分署を東分署に改める。
昭和38年4月1日	西大友分遣所を設置する。 組織：消防職員8名 設備：消防車1台 設置場所：小田原市西大友9
昭和46年4月1日	橘町合併に伴い、消防団を22個分団732名とする。
昭和63年4月1日	城北分署を設置する。 組織：消防職員20名 設備：消防車2台、救急車1台、連絡車1台 設置場所：小田原市栢山3017-2 消防職員定数を186名とする。
平成6年8月1日	消防本部を小田原市前川183-18に移転する。 構造：鉄筋コンクリート造 3階建塔屋付 延床面積：3,931.8㎡ 旧庁舎を中央分署とする。
平成18年8月1日	中央分署及び西分署を統合し南分署を設置する。 構造：鉄筋コンクリート造4階建 設置場所：小田原市南町1-9-36
平成25年3月31日	消防の広域化により南足柄市及び足柄上郡5町(中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町)から消防事務を受託する。 ・1本部2署2分署7出張所で、職員数353名の配備態勢となる。 ・署所の名称を改める。小田原消防署、南町分署、荻窪出張所、国府津出張所、栢山出張所、西大友出張所、足柄消防署、松田分署、岡本出張所、山北出張所、中井出張所を配置する。 ・機構改革により、消防総務課を総務係と財務係とする。広域調整課(広域調整係、消防団係)を新設する。 ・警防課を警防計画課(計画係、装備係)に改める。救急課(救急対策係)を新設する。情報司令課(情報管理係、司令係)を新設する。消防署管理調査係を廃止し、消防課を新設する。警備課を警防課に改める。 ・小田原消防署に高度救助隊を発足する。
令和2年12月17日	岡本出張所を建て替える。 構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積：611.83㎡ 設置場所：南足柄市岩原1025-5
令和3年2月16日	国府津出張所及び西大友出張所を廃止し成田出張所を開設する。 構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積：1,116.21㎡ 設置場所：小田原市成田923-2



出初式の様子 (年代不明)

消防の広域化について

平成 25 年 3 月 31 日、小田原市消防と足柄消防組合は統合し、県西地域 2 市 5 町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町）を管轄する「新たな小田原市消防」としてスタートしました。

新体制のもと、災害対応力の強化や行財政運営の効率化など、消防の広域化による効果を最大限に活かし、火災などに強い安心して暮らせるまちの実現を目指して、これからも消防職員一丸となって取り組んでいきます。

～ 消防の広域化の経緯 ～

年 月	内 容	所 管
平成 18 年 6 月	「消防組織法」を一部改正	総務省消防庁
平成 18 年 7 月	「市町村の消防広域化に関する基本指針」告示	
平成 19 年 3 月	「広域消防検討分科会」を設置	県西地域広域市町村圏協議会
平成 19 年 5 月	「市町村の消防の広域化検討結果報告書」作成	神奈川県
平成 19 年 5 月	広域化のメリット・デメリットを整理（広域消防検討分科会）	県西地域広域市町村圏協議会
平成 20 年 3 月	「神奈川県消防広域化推進計画」を策定	神奈川県
平成 22 年 3 月	「広域消防グランドデザイン」作成（広域消防検討分科会）	県西地域広域市町村圏協議会
平成 22 年 4 月	「消防広域化検討部会」を設置	
平成 23 年 2 月	「消防広域化検討結果報告書」作成（消防広域化検討部会）	神奈川県西部広域行政協議会
平成 23 年 8 月	消防の広域化に向けた新たな協議組織への参画を表明	
平成 23 年 9 月	「神奈川県西部消防広域化協議会」の設置	神奈川県西部
平成 24 年 1 月	全ての協議項目を確認し各市町が参画表明	消防広域化協議会
平成 24 年 3 月	「足柄消防組合の解散に係る協議について」議決	足柄 1 市 5 町各議会
平成 24 年 4 月	「神奈川県西部広域消防運営計画」の承認 「消防事務の委託に関する規約」の承認	神奈川県西部消防広域化協議会
平成 24 年 6 月	「消防事務の委（受）託に関する協議について」議決	県西地域 2 市 5 町各議会
平成 24 年 7 月	2 市 5 町の首長による「消防事務の委託に関する規約締結式」が挙行され、消防の広域化が正式に決定	神奈川県西部消防広域化協議会

歴代消防長

代名	氏名	就任・退任年月	
初代	永野 林次	昭和23年 3 月	昭和30年 3 月
2	荻窪 幸六	昭和30年 4 月	昭和36年 9 月
3	二見 衡平	昭和36年10月	昭和40年 6 月
4	小野 菊造	昭和40年 7 月	昭和44年10月
5	勝間田 熊雄	昭和44年11月	昭和47年 5 月
6	遠藤 英昭	昭和44年 6 月	昭和62年 3 月
7	内藤 慶一	昭和62年 4 月	昭和62年11月
8	中村 満	昭和62年12月	平成 5 年 3 月
9	中村 久雄	平成 5 年 4 月	平成 8 年 3 月
10	高橋 廣毅	平成 8 年 4 月	平成 9 年 3 月
11	塩塚 喜六	平成 9 年 4 月	平成13年 3 月
12	大木 徹	平成13年 4 月	平成14年 3 月
13	二見 泰亘	平成14年 4 月	平成16年 3 月
14	椎野 清一	平成16年 4 月	平成18年 3 月
15	府川 利明	平成18年 4 月	平成19年 3 月
16	中村 章	平成19年 4 月	平成20年 3 月
17	日比野 満雄	平成20年 4 月	平成22年 3 月
18	木目田 和義	平成22年 4 月	平成24年 3 月

代名	氏名	就任・退任年月	
19	鈴木 元	平成24年 4 月	～ 平成25年 8 月
20	本多 高弘	平成25年 9 月	～ 平成26年 3 月
21	都筑 正宏	平成26年 4 月	～ 平成27年 8 月
22	守屋 伸彦	平成27年 9 月	～ 平成29年 3 月
23	穂坂 明利	平成29年 4 月	～ 令和 2 年 3 月
24	岸 成典	令和 2 年 4 月	～ 令和 4 年 3 月
25	渋谷 精二	令和 4 年 4 月	～ 令和 5 年 3 月
26	高橋 貴博	令和 5 年 4 月	～

歴代消防署長（小田原）

代名	氏名	就任・退任年月
初代※	永野 林次	昭和23年3月7日 ～ 昭和30年8月4日
2※	荻窪 幸六	昭和30年8月4日 ～ 昭和35年4月15日
3※	二見 衡平	昭和35年4月15日 ～ 昭和38年1月8日
4※	小野 菊蔵	昭和38年1月8日 ～ 昭和40年7月1日
5※	勝間田 熊雄	昭和40年7月1日 ～ 昭和44年10月18日
6	遠藤 英昭	昭和44年10月18日 ～ 昭和47年5月28日
7	中根 清	昭和47年5月28日 ～ 昭和57年11月1日
8	柴崎 源次	昭和57年11月1日 ～ 昭和62年3月31日
9※	中村 満	昭和62年4月1日 ～ 昭和63年3月31日
10	高橋 廣毅	昭和63年4月1日 ～ 平成8年3月31日
11	川口 利雄	平成8年4月1日 ～ 平成9年3月31日
12	小川 暉隆	平成9年4月1日 ～ 平成11年3月31日
13	磯崎 洋三	平成11年4月1日 ～ 平成13年3月31日
14	初瀬川 洋興	平成13年4月1日 ～ 平成15年3月31日
15	府川 利明	平成15年4月1日 ～ 平成16年3月31日
16	中村 章	平成16年4月1日 ～ 平成18年3月31日
17	小関 正男	平成18年4月1日 ～ 平成19年3月31日

代名	氏名	就任・退任年月
18	鈴木 元	平成19年4月1日 ～ 平成21年3月31日
19	増田 孝幸	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日
20	大館 信雄	平成23年4月1日 ～ 平成25年3月30日
21	角田 貢一	平成25年3月31日 ～ 平成26年3月31日
22	守屋 伸彦	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日
23	米山 喜章	平成27年4月1日 ～ 平成29年3月31日
24	渋谷 精二	平成29年4月1日 ～ 令和2年3月31日
25	小池 和宏	令和2年4月1日 ～ 令和4年3月31日
26	高橋 貴博	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
27	池上 浩行	令和5年4月1日 ～

※ 消防長が兼務

歴代消防署長（足柄）

代名	氏名	就任・退任年月
初代	葦山 茂	平成25年 3 月31日 ～ 平成26年 3 月31日
2	羽田 榮	平成26年 4 月 1 日 ～ 平成28年 3 月31日
3	岸 成典	平成28年 4 月 1 日 ～ 平成29年 3 月31日
4	久保寺 照雄	平成29年 4 月 1 日 ～ 平成30年 3 月31日
5	遠藤 正美	平成30年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月31日
6	高橋 貴博	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月31日
7	黒柳 幹雄	令和 4 年 4 月 1 日 ～

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
昭和 23. 9. 16	アイオン台風	市内全域	死者 2, 負傷者 2, 流出家屋 36, 半流出家屋 14, 道路決壊 11, 河川堤防決壊 44
昭和 24. 5. 10	火 災	緑1 玩具店	全焼 41 損害額 130, 080 千円
昭和 24. 8. 31	キティ台風	市内全域	死者 1, 負傷者 26, 流出家屋及び全壊 103, 河川決壊 4 道路堤防決壊 8
昭和 26. 11. 28	火 災	万年1 木工所	全焼 282, 半焼 10 損害額 151, 440 千円
昭和 30. 2. 21	〃	荻窪 住宅	全焼 4, 部分焼 3 死者 4 損害額 2, 800 千円
昭和 30. 12. 29	〃	緑4 旅館	全焼 1, 半焼 2 損害額 8, 100 千円
昭和 35. 6. 6	〃	久野 住宅	全焼 1, 部分焼 1 死者 1 損害額 715 千円
昭和 38. 1. 9	〃	緑1 家具店	全焼 1, 部分焼 2 損害額 15, 724 千円
昭和 41. 1. 9	〃	多古 中学校	全焼 1 損害額 23, 784 千円
昭和 42. 11. 27	〃	井細田 工場	半焼 1 損害額 182, 263 千円
昭和 43. 3. 27	〃	栄町 教会	全焼 2, 半焼 1, 部分焼 1 死者 2 損害額 19, 831 千円
昭和 43. 4. 23	〃	栄町2 菓子店	全焼 3, 半焼 4 損害額 43, 961 千円
昭和 43. 6. 2	〃	池上 小学校	半焼 1, 部分焼 1 損害額 8, 063 千円
昭和 44. 7. 25	〃	栄町2 レストラン	全焼 1, 半焼 3, 部分焼 2 損害額 42, 358 千円
昭和 45. 1. 19	〃	城山3 中学校	全焼 4 損害額 40, 573 千円
昭和 45. 3. 14	〃	堀之内 電気店	全焼 1, 部分焼 1 死者 1 損害額 9, 275 千円
昭和 45. 7. 3	〃	高田 工場	部分焼 1 損害額 58, 589 千円
昭和 46. 1. 9	〃	中曽根 住宅	全焼 1, 部分焼 6 死者 3 損害額 899 千円
昭和 46. 3. 5	〃	板橋 家具店	全焼 1, 部分焼 5 損害額 64, 279 千円

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和47.3.16	火災	扇町住宅	全焼1, 部分焼1 死者1, 負傷者1 損害額2,630千円
昭和47.9.15 ~16	集中豪雨 台風20号	市内全域	死者2, 負傷者5, 家屋全壊2, 橋りょう 流出損壊2
昭和48.4.19	火災	高田工場倉庫	全焼1 1,472㎡焼損 負傷者1 損害額81,350千円
昭和48.8.12	〃	蓮正寺工場倉庫	全焼1 1,728㎡焼損 負傷者1 損害額207,510千円
昭和48.10.7	〃	中町1材木置場	全焼27, 半焼1, 部分焼11 4,120㎡焼損 損害額209,800千円
昭和49.1.23	〃	曾我大沢小学校	全焼4, 部分焼1 2,256㎡焼損 損害額27,650千円
昭和50.1.14	〃	小八幡3工場	全焼5, 部分焼3 971㎡焼損 損害額15,000千円
昭和50.3.24	〃	国府津3郵便局	全焼2, 半焼1, 部分焼2 460㎡焼損 損害額28,387千円
昭和50.5.7	〃	中町3工場	全焼3, 部分焼2 431㎡焼損 損害額25,897千円
昭和51.1.20	〃	田島寺院	全焼1 158㎡焼損 損害額8,762千円
昭和51.1.27	〃	板橋住宅	全焼3, 部分焼2 268㎡焼損 損害額12,546千円
昭和51.11.21	〃	久野住宅	全焼2, 半焼1, 部分焼2 255㎡焼損 損害額16,652千円
昭和51.12.8	〃	扇町木工所	全焼5, 部分焼6 498㎡焼損 損害額23,788千円
昭和53.3.20	〃	中町3木工所	全焼10, 半焼3, 部分焼2 1,100㎡焼損 損害額66,605千円
昭和53.4.11	〃	栄町1事務所	全焼1, 部分焼3 745㎡焼損 損害額28,691千円
昭和53.5.24	〃	扇町1保護施設	全焼5, 半焼1 649㎡焼損 損害額19,038千円
昭和53.6.23	〃	本町4製材所	全焼2 656㎡焼損 損害額7,548千円
昭和54.3.12	〃	南町3住宅	全焼3, 半焼2, 部分焼3 1,009㎡焼損 損害額112,913千円
昭和54.4.11	〃	小台住宅	全焼3 267㎡焼損 死者1 損害額8,997千円

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
昭和54.12.18	火 災	中 町3 木 工 所	全焼6 761 m ² 焼損 損害額 61,621 千円
昭和55.8.15	”	中 里 住 宅	全焼2, 部分焼2 214 m ² 焼損 死者1 損害額 22,507 千円
昭和56.4.1	”	久 野 飲 食 店	全焼1 203 m ² 焼損 死者1 損害額 10,924 千円
昭和56.7.11	”	扇 町 材 木 店	全焼9, 半焼1, 部分焼7 1,290 m ² 焼損 負傷者3 損害額 110,699 千円
昭和57.3.25	”	南 町 住 宅	半焼1, 部分焼2 738 m ² 焼損 損害額 23,695 千円
昭和61.1.28	”	久 野 製 材 所	全焼1, 部分焼4 1,088 m ² 焼損 損害額 33,321 千円
昭和63.1.2	”	下大井 工 場	全焼2, 半焼1 569 m ² 焼損 損害額 99,622 千円
昭和63.2.5	”	城 山 住 宅	全焼5, 半焼3, 部分焼8 507 m ² 焼損 損害額 27,377 千円
平成2.10.28	”	入生田 倉 庫	全焼2 205 m ² 焼損 損害額 33,150 千円
平成3.9.4	”	扇 町 共同住宅	全焼1, 半焼1, 部分焼1 1,148 m ² 焼損 死者1 損害額 46,931 千円
平成4.7.21	”	寿 町1 工 場	全焼1, 半焼1, 部分焼1 1,327 m ² 焼損 損害額 77,559 千円
平成4.12.14	”	南 町1 住 宅	全焼4, 半焼1, 部分焼2 409 m ² 焼損 損害額 15,060 千円
平成6.8.11	”	荻 窪 工 場	全焼2, 部分焼3 1,308 m ² 焼損 負傷者1 損害額 114,459 千円
平成7.10.25	”	小八幡2 住 宅	全焼4, 半焼1, ぼや4 523 m ² 焼損 損害額 42,989 千円
平成8.3.5	”	成 田 工 場	半焼1 1,228 m ² 焼損 損害額 267,817 千円
平成9.5.23	”	久 野 寄 宿 舎	全焼1, ぼや1 487 m ² 焼損 損害額 15,516 千円
平成10.1.23	”	久 野 工 場	全焼2 533 m ² 焼損 損害額 26,605 千円
平成11.1.21	”	府 川 住 宅	全焼5 661 m ² 焼損 損害額 17,797 千円
平成11.2.1	”	飯 泉 住 宅	全焼2, 部分焼1, ぼや3 140 m ² 焼損 死者1 損害額 16,046 千円

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
平成 11. 2. 17	火 災	小 竹 住 宅	全焼3, ぼや2 285 m ² 焼損 死者1, 負傷者1 損害額 19,650 千円
平成 12. 9. 14	〃	石 橋 住 宅	全焼2, ぼや2 190 m ² 焼損 死者1, 負傷者1 損害額 21,624 千円
平成 13. 2. 25	〃	小八幡 住 宅	全焼1, 半焼1, 部分焼1, ぼや1 196 m ² 焼損 死者5, 負傷者3 損害額 8,922 千円
平成 15. 2. 18	〃	本 町2 店舗併用住宅	全焼1, 半焼1 327 m ² 焼損 死者1, 負傷者2 損害額 17,375 千円
平成 15. 3. 12	〃	前 川 倉 庫	全焼4, 部分焼2, ぼや10 2,608 m ² 焼損 損害額 294,877 千円
平成 15. 8. 11	〃	飯 泉 工 場	全焼2, ぼや2 2,468 m ² 焼損 負傷者3 損害額 131,289 千円
平成 16. 7. 3	〃	扇 町2 住 宅	全焼4, 部分焼4, ぼや2 265 m ² 焼損 損害額 11,401 千円
平成 17. 6. 27	〃	小 船 牛 舎	全焼3 475 m ² 焼損 乳牛33頭焼損 負傷者2 損害額 24,462 千円
平成 18. 1. 18	〃	下大井 住 宅	全焼1, ぼや3 193 m ² 焼損 死者1 損害額 27,456 千円
平成 19. 11. 5	〃	根府川 住 宅	全焼2, 部分焼3, ぼや3 240 m ² 焼損 死者1, 負傷者1 損害額 14,149 千円
平成 20. 12. 27	〃	曾我大沢 住 宅	全焼1 71 m ² 焼損 死者1 損害額 1,853 千円
平成 21. 1. 30	〃	荻 窪 店舗兼事務所	半焼1 82 m ² 焼損 死者2、負傷者4 損害額 11,370 千円
平成 22. 12. 28	〃	栄 町3 住 宅	全焼5, ぼや5 538 m ² 焼損 損害額 18,614 千円
平成 23. 4. 17	〃	西大友 併用住宅	全焼3、半焼1 226 m ² 焼損 損害額 28,105 千円
平成 24. 2. 17	〃	東 町5 住 宅	全焼1, ぼや2 39 m ² 焼損 死者1 損害額 1,019 千円
平成 24. 7. 16	〃	小 船 倉 庫	全焼1, ぼや4 404 m ² 焼損 損害額 6,499 千円
平成 25. 3. 24	〃	寿 町2 小学校体育館	全焼1, ぼや1 720 m ² 焼損 損害額 141,602 千円
平成 25. 9. 16	〃	扇 町2 店舗併用住宅	全焼4, 部分焼1 659 m ² 焼損 損害額 103,618 千円
平成 25. 10. 21	〃	南 町3 住 宅	全焼3, 半焼1, 部分焼1 918 m ² 焼損 損害額 11,722 千円

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
平成 26. 7. 31	火 災	中井町井ノ口 店舗併用住宅	全焼 1 775 m ² 焼損 負傷者 3 損害額 111,697 千円
平成 27. 6. 30	〃	上 町 鉄 道 (新幹線車両)	損害額 17,748 千円 死者 2, 負傷者 28
平成 27. 10. 18	〃	松田町寄 納屋・住宅	全焼 3, 部分焼 1 306 m ² 焼損 損害額 18,276 千円
平成 27. 12. 17	〃	南足柄市大雄町 店舗併用住宅	全焼 5, 部分焼 1 658 m ² 焼損 負傷者 1、損害額 33,719 千円
平成 29. 7. 27	〃	南足柄市塚原 倉 庫	部分焼 1 1,153 m ² 焼損 損害額 202,165 千円
平成 30. 8. 24	〃	小田原市東町 遊技場兼寄宿舍	全焼 1 1,036 m ²
平成 31. 1. 9	〃	小田原市清水新田 住宅・共同住宅	全焼 1, 半焼 1, 部分焼 1, ぼや 1 116 m ² 焼損 死者 3、負傷者 2
令和 3. 3. 1	〃	小田原市早川 住 宅	全焼 1, 部分焼 1, ぼや 2 114 m ² 焼損 死者 3

◎ 平成 25 年からの変更事項

- 1 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町における災害記録を記載しています。
(平成 24 年以前は、小田原市のみを記載)
- 2 掲載する災害は、火災・災害等即報要領(昭和 59 年 10 月 15 日消防災第 267 号 消防庁長官)「第 2 即報基準」に基づく、火災・災害等としています。